

第1回ジオパーク下仁田協議会ガイド部会

日時 令和3年7月20日(火) 午後7時00分～

場所 下仁田町自然史館・ミーティングルーム

所 属	氏 名	出・欠	所 属	氏 名	出・欠
下仁田ジオパークの会・鉄山研究会	大河原 順次郎	出	下仁田ジオパークの会	松原 信也	出
下仁田ジオパークの会	森川 恵美子	出	下仁田町観光協会	津金澤 英美	欠
下仁田ジオパークの会	神戸 百合子	出	下仁田自然学校	中村 由克	出
下仁田ジオパークの会	高橋 敏博	欠	協議会事務局 事務局長	林 通典	出
下仁田ジオパークの会	高橋 真理子	出	協議会事務局	赤岡 明	出
下仁田ジオパークの会	黒澤 雅史	出	協議会事務局	関谷 友彦	出
下仁田ジオパークの会・荒船風穴解説員	堀口 和利	出			

1 開 会

2 協議事項

①. 下仁田ジオパーク ストーリー・テーマについて

別紙1のとおり原案を示し、テーマストーリー検討会での成果を共有し、表現方法については、下記の意見が出されました。

下仁田層、川井の断層や中小坂鉄山について
⇒テーマ上3つの中に無理やり入れる必要はないが、パンフレットには紹介する

「チャツボミゴケ」や「石灰岩地のカタツムリ」についてはガイド向けに資料を用意して欲しい。

①大地の大移動“根なし山”

・タイトルにインパクト与えるなら「どこから、来たの根なし山？」
という表現がいい。

・「根なし山」は一般の人には良く分からない、テーマに入れるのがいいのか？

→下仁田らしさとしては根なし山を入れた方がいい。

②信州の高原と関東平野を分けた古い火山

- 日本海と太平洋の分水嶺という表現はインパクトがあっているのでは？
- 知名度では、下仁田は軽井沢のすぐそばなので「信州」という表現より「軽井沢」の高原地帯という表現を入れたらよいのでは
- 民営になった「荒船の湯」を紹介するのはいかがなものか？
→昔の火山の恵みとして、特定の温泉ではなく、この地域に複数あった鉱泉として火の恵みの癒しの地として紹介する。

③東西の文化とモノを運んだ 下仁田の道

- 河岸段丘やネギ畑を強調した方がいい。
- ここは東西の行き来だけでなく、ここから、東北や南関東にモノが運ばれたところでもあるので、交差点という表現でもいいのでは？
⇒「文化とモノの交差点」

⇒今回の意見を踏まえて、ストーリーを表現する言葉は、他の専門部会でも協議し、8月末のガイド部会で再度検討しま。

また、今回新しいテーマを含めたパンフレットをリニューアルするにあたって下記の意見がだされました

- 地図は必要なところは大きめに拡大した図を用意し、全域は細かくかくてもいいのではないか？
- 文字はできるだけ大きめに
- パンフレットは美祢秋吉台ジオパークのような、八つ折を見開きにして、冊子のようにしたものがよいのでは？
- 見開き冊子のページに、概略地図とテーマが見開きになっている方がいい
- テーマ毎にページが色々分けてあると、見た目ですぐわかっていいのでは？

⇒いただいた意見も踏まえて予算と併せて事務局で検討することになりました。

②. 下仁田ジオパークガイド養成講座実施要項（案）について

ガイド認定について、明確なものが今までなかったので、別紙2の原案を作って、おおむね原案のとおり専門部会では承認され、協議会長の承認を得ることにします。7月30日には、ガイド部会の津金澤さん（観光協会）、黒澤さん（ジオの会）を対象に講義を行いガイドの認定を行う。

今後、ジオパーク行事に参加している人を対象に、このような講義を受講してもらいガイド認定を出していく。

但し、制度については、新規参入者にはハードルの高いものになっているので、今後も引き続き検討する。

③. 下仁田ジオパーク再認定審査の行程（案）について

別紙3のとおり行程案を説明し、下記の意見がだされました。

- ・交流防災センターを審査で使うのであれば、審査をきっかけに防災に関する展示をしてはどうか？

④アクションプラン作成（2022～2027）（案）について

別紙4のとおり、前回のガイド部会以降の修正を踏まえてアクションプランを検討いただき、下記の意見が出ました。

- ・馬山ガイドブックの実践を、現状に細かく記載する。（目的、作ってきた手法など）
- ・今回決まったガイド認定制度についてアクションプランについて掲載する。
- ・利根川最上流部の下仁田の自然の美化は海の環境保護に繋がるとという意味でもテーマに荒船山と分水嶺を入れてはという提案をした。
- ・メッセージ性のあるガイドの育成とは？
⇒ガイドツアーに参加したお客さんが、地球環境や変動する大地でいきていくことについて改めて考えられるようなメッセージ性のあるガイドを育てていく

⇒以上の意見が出され、事務局で修正したものを10月協議会にかけること

にしました。

3 次回の部会開催について

ストーリーやパンフレットの検討を中心に9月末頃開催します。